

5/9 13:20 FAX

東京電力株式会社
手許資料

2

5/9 (月) 福島事務所における11時50分臨時レク概要をお知らせいたします。

5/9 (月) 11時50分臨時レク概要

<説明内容>

○福島第一1号機 1階北西、2階北側の状況について【資料配付】
※静止画提供

<主な質疑>

Q. 午後の線量測定のうち2階については全域で実施するのか？

A. 原子炉冷却関係で今後立ち入りが必要になる箇所がある。
当該箇所を中心に行う予定。

Q. 2階の現場調査は今回初めてだと思うが、状況は？

A. サーベイ結果、数値が高い箇所で100mSvを確認した。

Q. それは最大の数値か？

A. 今回測定した中では最大の数値。
今後詳細についてさらに状況確認を実施する予定。

Q. 今回の調査時間は？

A. 4時18分～4時47分。

Q. 1階の状況についてはどうか？

A. 一部で280mSvを確認。
他箇所については手持ち資料（線量マップ）に基づき説明。

Q. 今回確認した線量は今後の作業に支障をきたす程度か？

A. 今後詳細についてさらに状況確認を実施する予定。
その上で遮へいや除染等、作業環境の整備に努めていく。

以上

情報共有

2本

管印班

←アリス

5/9

22:00

FIX

NISA班 対加T.

東京電力株式会社

手許資料

5/9 (月) 福島事務所における20時定例レク概要をお知らせします。

5/9 (月) 20時定例レク概要

<説明内容>

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(5月9日 午後3時現在) 【資料配付】

②福島第一原子力発電所敷地内における空気中の
放射性物質の核種分析の結果について (第四十五報)

福島第一原子力発電所付近の海水からの
放射性物質の検出について (第四十七報)

福島第一原子力発電所2号機の取水口付近からの
放射性物質を含む液体の海への流出について (続報35)

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

福島第一原子力発電所4号機使用済み燃料プール水の分析結果について
(続報2)

【全て資料配付】

⑥作業状況、予定のお知らせ

○1u作業環境改善について

- ・午前中：計測器類校正や設置、明日以降の作業環境整備のための現場調査。
(遮へいや照明設置等の準備)
- ・明日：計測器の校正や設置、線量測定作業等。
冷却設備設置のための環境整備作業。

○4u使用済み燃料プールへの放水について

○3u使用済み燃料プールへの注水について (ヒドラジン投入)

○3u復水器からT/B地下階への移送について

○2u集中RWへの移送について

○2u北側立坑の閉塞作業について

・閉塞作業終了

○リモートコントロールのガレキ撤去作業について

○飛散防止剤の樹脂散布について

○明日の作業予定

・飛散防止剤散布

・ガレキ撤去作業

・1uR/B環境改善に係る作業

等。

<主な質疑>

Q. 1u環境改善作業について、午後は何を行ったのか？

A. 午後は現場には入域していない。
今後の作業の打ち合わせ等を実施したと聞いている。

Q. 今後の立坑閉塞作業については？

A. 2u南側と3uの北側、南側の三カ所を予定している。
具体的な日程等については今後検討していく。

Q. 飛散防止剤の散布について、
現状で全体計画の何パーセント程度か？

A. 全体で約50万m3を計画している。
本日までの実績で104690m3散布済みなので、
約20%終了している。

Q. 終了時期についての目安は？

A. 6月下旬頃を目指している。

Q. 3u復水器からの移送が計画より遅れている理由は？

A. 詳細は確認していないが、
建物の構造上の問題もあると考えている。

Q. 3uのクランチ部分が300℃を超えているが、

構造上問題ないのか？

- A. 当該部分以外は上昇傾向が落ち着いてきている。
計器の信頼性の問題も考えられる。
また設計構造上も余裕があるので、
直ちに問題があるとは考えていない。
- Q. 仮に余裕を超えた温度に達した場合どうなるのか？
- A. 強度が低下する等の支障をきたすと考えられるが、
注水量の増加や注水ルートの変更等を踏まえ、
状況を注視していく。
- Q. 1口環境改善作業について、明日の現場調査には
線量測定も含まれているのか？
- A. その通り。
- Q. 鉛毛マットはどのように使用するのか？
- A. 短時間で効率的な作業が可能になるように、
作業環境を整備する目的で使用する。
様々な種類があり、現場の状況に応じて使用する。
- Q. 明日の作業時間は？
- A. 詳細は報告を受けていない。
確認でき次第お知らせする。

以上